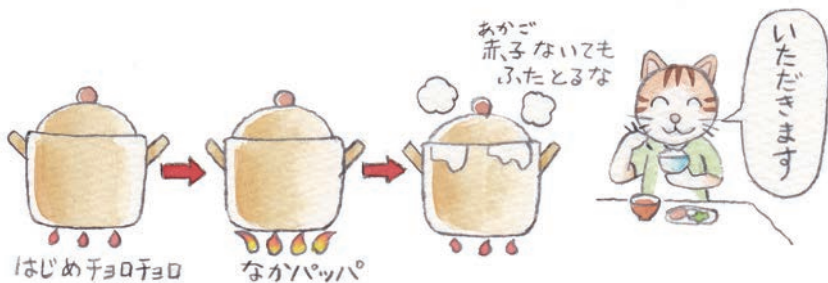


# はじめチヨロチヨロ作戦

いま、ごはんは、電気すいはんきで、かんたんにたけてしまう。昔は、電気ではなく、火でたいていた。今だってもちろん、火でたける。なべを使って、自分で水かげんや火の強さに気をつけて、たいてみよう。ごはんが「ブツブツ」いわなくなったら、できあがり。なべの底に、おこげがでるのもおいしい。



かたい米が、やわらかいごはんになる仕組みをしらべてよう。



## 読んでみよう

### 『お米のひみつ』

小竹千香子著 永井泰子絵 さ・え・ら書房 1992  
978-4-378-03864-3

### 『料理とワラ加工』

農文協編 赤松富仁写真 農山漁村文化協会 2002  
978-4-540-01186-3

### 『お米をおいしく食べよう!』

保岡孝之監修 ポプラ社 2002  
978-4-591-07130-4

### 『イネ・米』（地球を救う!植物）

津幡道夫著 大日本図書 2013 978-4-477-02652-7

